

青木陵子 Ryoko Aoki

1973 兵庫県生まれ

現在京都府在住

1999 京都市立芸術大学大学院 ビジュアルデザイン科修了

主な個展

- 2024 「境界線のはなし」 Take Ninagawa、東京
- 2020 「変化する自由分子の WORKSHOP」 (with 伊藤存)、ワタリウム美術館、東京
- 2018 「Ryoko Aoki and Zon Ito」 (with 伊藤存)、Yamamoto Keiko Rochaix、ロンドン
「三者面談で忘れてる NOTEBOOK」 Take Ninagawa、東京
- 2011 「みどり色のポケット」 Take Ninagawa、東京
- 2010 「ワイルドフラワーのたね」 On Sundays、東京
- 2009 「Camp」 (with 伊藤存)、Konrad Fischer Gallery、デュッセルドルフ
「オブジェクト・リーディング」 フォイル・ギャラリー、東京
- 2007 「Under the Secret」 児玉画廊、大阪
「Ripples」 Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2005 「Super Flyer」 児玉画廊、東京
「Hammer Projects: 青木陵子」 Hammer Museum、ロサンゼルス
- 2004 「Sliding Circle」 Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス
- 2002 「Gluesights」 児玉画廊、大阪
「クリテリウム 51 青木陵子」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸

主なグループ展

- 2025 「ずれた」 The Pawnbroker's Museum、日光市、栃木
「マタタビ」 jasmin 防空壕ギャラリー、京都
Curation ⇄ Fair 「Pocket Full of Sparks: それは小さいのにとっても大きい」
(キュレーション: 兼平彦太郎)、kudan house、東京
- 2024 AWT Focus 2024 「大地と風と火と: アジアから想像する未来」 (キュレーション:
片岡真実) 大倉集古館、東京
神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond (with 伊藤存)

TAKE NINAGAWA

- 「an arena」 Barbati Gallery、ヴェネツィア
恵比寿映像祭 2024「月へ行く 30 の方法」(with 伊藤存)
- 2023 「Body, Love, Gender」(キュレーション：椿玲子) Gana Art Center、ソウル
AWT Focus 2023「平衡世界：日本のアート、戦後から今日まで」(キュレーション：保坂健二郎) 大倉集古館、東京
「15」 Take Ninagawa、東京
「ケアリング/マザーフッド：「母」から「他者」のケアを考える現代美術」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2022 「視覚トリップ展」ワタリウム美術館、東京
- 2021 「日常のあわい」(with 伊藤存)、金沢 21 世紀美術館
「South South 東京」 Take Ninagawa、東京
- 2020 「コレクション 1: 越境する線描」国立国際美術館、大阪
- 2019 Reborn-Art Festival 2019「いのちのてざわり」(with 伊藤存)、石巻、宮城
- 2018 「国立国際美術館コレクション：美術のみかた 自由自在」豊橋市美術館、愛知；福岡県立美術館
「現代アートの宝箱 OPAM 利岡コレクション」大分県立美術館
Public Art Research Center 8「Parc 8: 橋をかける」(with 伊藤存)、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
「ヘレン・アット・ザ・マウンテン」てつおのガレージ、栃木
「181 枚の記憶 高松市美術館特別展の歩み」高松市美術館
「10th Anniversary」 Take Ninagawa、東京
- 2017 「In Focus: Contemporary Japan」ミネアポリス美術館、ミネソタ州、アメリカ
「Post-Formalist Painting」駒込倉庫、東京
「Reborn-Art Festival in Tokyo」(with 伊藤存)ワタリウム美術館、東京
Reborn-Art Festival 2017「人が生きる術」(with 伊藤存)、石巻、宮城
「コレクション 風景表現の現在」国立国際美術館、大阪
「椿会展 2017 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 2016 「現代地方譚 4 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー/旧三浦邸、高知
「Location, Location, Location」Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス
「トレッドソン・ヴィラ・マウンテン・スクール 2016」トレッドソン別邸、日光、栃木；statements、東京
「椿会展 2016 初心」資生堂ギャラリー、東京
「囚われ、脱獄、囚われ、脱獄」statements、東京
- 2015 「Two Sticks」ヴロツワフ建築博物館、ポーランド
「現代地方譚 3 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー/旧三浦邸、高知

TAKE NINAGAWA

- 「古今東西 100 人展：アイ・ラブ・アート 13 ワタリウム美術館コレクション」
ワタリウム美術館、東京
- 「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」東京オペラシティ アートギャラリー
- 「Wabi Sabi Shima: Of the Aesthetic of Perfection and Chaos in the Japanese Archipelago」Thalie Art Foundation、ブリュッセル
- 「椿会展 2015 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 「トレッドソン別邸のため」トレッドソン別邸、栃木
- 「still moving」京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
Champasari Art Gallery、マハーサーラカム大学、タラット、タイ；Koala space、
天津；53 美術館、広州；香港アート・センター；高雄市文化センター、中国；
マラヤ大学美術館、クアラルンプール；Muzium & Galeri Tuanku Fauziah、ペナン；
マレーシア科学大学、ペナン
- 2014 「拡張するファッション」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川；水戸芸術館現代
美術センター
- 「開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画：クロニクル 1995-」東京都現代
美術館
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
Omani Society Fine Arts、マスカット、オマーン；M16 Artspace、キャンベラ；
Gallery Central、パース、オーストラリア
- 「椿会展 2014 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 2013 「5th Anniversary」Take Ninagawa、東京
- 「Now Japan: Exhibition with 37 Contemporary Japanese Artists」Kunsthal KAdE、
アムステルダム、オランダ
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
メトロポリタン美術館、マニラ；龍頭山美術展示館、釜山；安養ロッテ・ギャラ
リー、安養；済州道立美術館；在大韓民国日本国大使館広報文化院、ソウル；ホ
ーチミン市労働文化会館展示館；ベトナム国立美術博物館、ハノイ
- 「椿会展 2013 初心」資生堂ギャラリー、東京
- 「Re: Quest - 1970 年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館
- 2012 5th International Biennial of Media Art 「Experimenta Speak to Me」メルボルン
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」
シントラ現代美術館、ポルトガル；アリカンテ大学美術館、スペイン；
Theocharakis Foundation Museum、アテネ；マルミタロ、ヘルシンキ
- 2011 「世界制作の方法」国立国際美術館、大阪
- 「クロスカウンター・日英アーティスト共有展」Capsule、東京
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」

TAKE NINAGAWA

- Gezira Art Center、カイロ；Tkachi、サントペテルブルク、ロシア；国立現代美術センター、モスクワ；エルンスト美術館、ブダペスト
- 「CAFE in Mito 2011- かかわりの色いろ」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2010 「高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.01 もうひとつの・カーニバル」高松市美術館
- 「alive - birth of a tale」Gallery Factory、ソウル
- 「The More I Draw - Drawing as a Concept for the World」ジエゲン現代美術館、ドイツ
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」メキシコ国自治大学付属チョポ美術館、メキシコシティ；トロント日本文化センター；日米文化会館ドイザキギャラリー、ロサンゼルス
- 「Hana 現実と虚構が溶け合った視覚の冒険」小山市立車屋美術館、栃木
- 「絵画の庭 - ゼロ年代日本の地平から」国立国際美術館、大阪
- 2009 「Twist and Shout: Contemporary Art from Japan」バンコク芸術文化センター
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」Aberystwyth Arts Centre、アベリストウィス、イギリス；ローマ日本文化会館；ケルン日本文化会館、ドイツ
- 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」原美術館、東京
- 2008 「Art on Paper」ノース・カロライナ大学グリーンズボロ校、ノース・カロライナ州、アメリカ
- 「MOT コレクション：サバイバル・アクション」東京都現代美術館
- 「ライフがフォームになるとき - 未来への対話 / ブラジル、日本」サンパウロ近代美術館
- 2007 ドクメンタ 12 「The Migration of Forms」カッセル
- 「夏への扉 - マイクロポップの時代」水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 2006 「Psychic Scope」Space*C、ソウル
- 「Rapt! 20 contemporary artists from Japan」West Space、メルボルン
- 2005 「夏の蜃気楼 自然をうつしだす現代の作家たち」群馬県立館林美術館
- 「Paper」Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2004 「Past in Reverse: Contemporary Art of East Asia」サンディエゴ美術館、カリフォルニア州、アメリカ
- 「アートがあれば：Why Not Live For Art?」東京オペラシティ アートギャラリー
- 「on paper」Nicole Klagsbrun、ニューヨーク
- 2003 「Study」タカ・イシイギャラリー、東京
- 「Slow Painting」大和ラジエーターファクトリー・ビューイングルーム広島
- 「Dark Shadows」Marc Foxx Gallery、ロサンゼルス

TAKE NINAGAWA

- 「Girls Don' t Cry」 パルコミュージアム、東京
- 2002 「Art in Transit」 パレスサイドホテル、京都
「想画集」 ヴォイスギャラリー、京都
- 2001 横浜トリエンナーレ 2001「メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて」(with 伊藤存)
「Kyoto x Amsterdam - New Directions」 京都芸術センター
- 2000 「The J-Way」 Lydmar Hotel、ストックホルム
- 1998 「どないやねん！現代日本の創造力」 パリ国立高等美術学校

レジデンシー

- 2025 トレッドソン・ヴィラ・レジデンシー (with 伊藤存)
- 2016 「現代地方譚 4 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー、高知
- 2015 「現代地方譚 3 アーティスト・イン・レジデンス須崎」すさきまちかどギャラリー、高知

主なコレクション

ハマー美術館、ロサンゼルス

大分県立美術館

国立国際美術館、大阪

資生堂

高松市美術館

東京都現代美術館

ニューヨーク近代美術館